

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	諏訪部 孝 敏 議員	1 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
1	災害時における建設業者等との災害協定について	<p>近年、地震・豪雨・土砂災害・火災など、私たちの生活を脅かす災害が全国各地で頻発している。</p> <p>富士宮市においても、南海トラフ地震や大規模風水害などいつ発生してもおかしくない状況にある。災害発生直後の最初の数時間は、住民の命を守る上で極めて重要である。その際、道路啓開・倒木撤去・土砂除去、応急復旧などにおいて、地域の建設業者の皆さんの協力は欠かせないものである。</p> <p>本市の災害対応力を高めるため、以下について伺う。</p> <p>(1) 災害協定の現状把握について。</p> <p>① 市の建設業者の数と建設業者との災害協定の内容、対象業務はどのようになっているのか伺う。</p> <p>② 災害協定先の業者数は市内全体のどの程度をカバーしているのか伺う。</p> <p>③ 協定の更新状況や、実効性を高めるための見直しは行われているのか伺う。</p> <p>(2) 災害発生時の初動体制について。</p> <p>① 地震や大規模火災、土砂災害など災害種別ごとに、建設業者へどのように出動要請を行うのか伺う。</p> <p>② 災害時の連絡体制（連絡手段・優先順位・担当部署）は明確化されているのか伺う。</p> <p>③ 夜間及び休日の大規模災害発生時における即応性をどのように確保しているのか伺う。</p> <p>(3) 道路啓開・倒木撤去・土砂除去の実動体制について。</p> <p>① 市内の主要道路・通学路・緊急輸送路について、どの業者がどの地区を担当するか、事前に割り振りされているのかを伺う。</p> <p>② 大規模災害で複数箇所が同時に被災した場合の優先順位や指揮系統はどのようになっているのか伺う。</p> <p>③ 過去の災害での出動実績と、そこから得た課題は何か。</p> <p>(4) 資機材・重機の確保と平時からの準備について。</p> <p>① 災害協定に基づき、どの程度の重機・ダンプカー・人員が確保されているのか伺う。</p> <p>② 市として、資機材のリスト化や位置情報の把握は行っているのか伺う。</p> <p>③ 燃料の確保や、災害時の優先供給体制は整っているのか伺う。</p> <p>(5) 訓練・連携強化について。</p> <p>① 建設業者と合同で行う防災訓練は実施されているのか。</p> <p>② 訓練の頻度、内容、参加業者数、課題の共有方法はどのようになっているのか伺う。</p> <p>③ 実動訓練を増やす考えや、地域ごとの協力体制を強化する取組はあるのか伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	諏訪部 孝 敏 議員	2 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
		<p>(6) 小規模業者や地域団体との連携拡大について。</p> <p>① 大手業者だけでなく、地域の小規模建設業者や土木業者とも協定を広げる考えはあるのか伺う。</p> <p>② 自治会・消防団との連携を含め、地域全体で災害対応力を高める仕組みづくりについて伺う。</p> <p>(7) 建設業者等との災害協定の拡充について。</p> <p>① 富士宮建設業協同組合との災害協定による災害時の緊急対応を充実させるに当たり、人手不足等から建設業者及び組合の体力が衰退している現状が課題であると考えられるが、将来的な対応策について市長の考えを伺う。</p>		
2	富士宮市における孤独死対策について	<p>近年、全国で孤独死が増加し、静岡県内でも決して他人事ではない状況が続いている。富士宮市でも、高齢者の単身世帯が増え、地域のつながりが弱まる中で、「もし自分が倒れたら誰が気づいてくれるのか」近所のある方について、「最近姿を見ないけれど大丈夫だろうか」といった不安の声が寄せられている。</p> <p>孤独死は、亡くなった方の尊厳の問題があると同時に、地域の見守り、行政支援、そして人と人のつながりの在り方を問う問題である。市民の安心のためにも、現状を正しく把握し、対策を強める必要がある。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 市としての把握状況について。</p> <p>① 富士宮市として、孤独死または孤立死の件数をどの程度把握しているのか伺う。</p> <p>② 年齢層・性別・居住形態など、可能な範囲での傾向分析は行っているのか伺う。</p> <p>③ 発見までに時間を要したケースの割合や、発見のきっかけ（通報・訪問・異臭など）を把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 現行の見守り体制の評価について。</p> <p>① 民生委員・地域包括支援センター・自治会による見守りは、現状どの程度機能していると評価しているのか伺う。</p> <p>② 高齢者だけでなく、全国的に増えている中年層の孤独死への対策は十分なのか伺う。</p> <p>③ 見守り対象者の把握はどのように行っているのか伺う。</p> <p>(3) 情報共有の在り方について。</p> <p>① 自治会未加入世帯の増加により、地域の目が届きにくくなっている現状をどう捉えているのか伺う。</p> <p>② 個人情報保護を理由に支援が遅れるケースがあるが、命を守るための情報共有の在り方について市の見解を伺う。</p> <p>③ 電気・水道・ガスなどのライフラインにおける異常値検知の情報を活用した見守り連携の可能性について伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長